シュローダーＢＲＩＣｓ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第52期（決算日2019年５月７日）　　第53期（決算日2019年７月30日）

作成対象期間（2019年１月31日～2019年７月30日）

第53期末（2019年７月30日）	
基準価額	7,570円
純資産総額	13,325百万円
第52期～第53期	
騰落率	10.8%
分配金（税込み）合計	100円

（注）騰落率は期末の基準価額に分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダーＢＲＩＣｓ株式ファンド」は、このたび第52期～第53期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、ブラジル、ロシア、インドおよび中国の株式を実質的な主要投資対象とし、長期的な信託財産の成長を目的に積極的な運用を行います。当作成期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記の委託会社のホームページの「投資信託一覧」から当ファンドを選択することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内１－８－３
丸の内トラストタワー本館21階

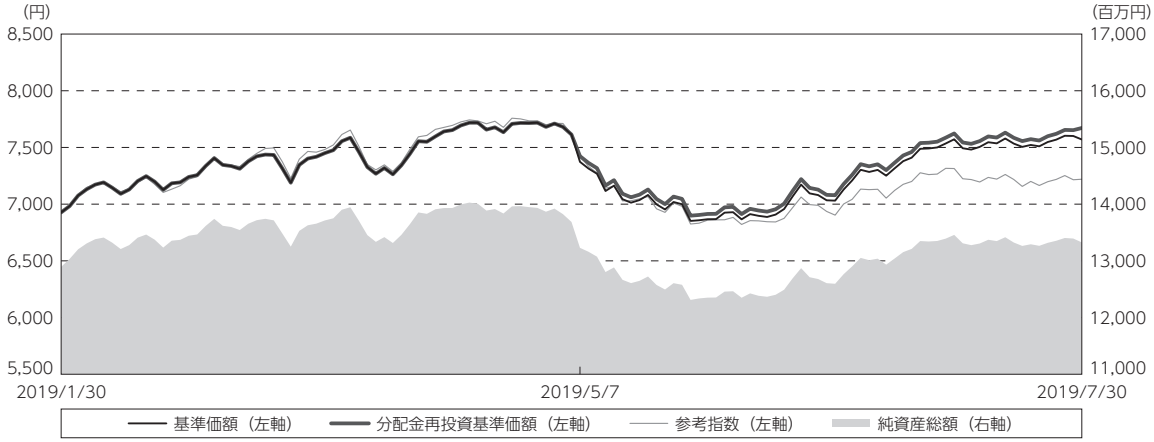
当運用報告書に関するお問い合わせ先
・投資信託営業部　電話番号　03-5293-1323
・受付時間　9:00～17:00（土・日・祝日は除く）
・インターネットホームページ　http://www.schroders.co.jp/

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2019年1月31日～2019年7月30日）



第52期首：6,927円
第53期末：7,570円（既払分配金（税込み）：100円）
騰　落　率：　10.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2019年１月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの参考指数は、MSCI BRIC指数（米ドルベース）を委託会社が独自に円換算したものです。

○基準価額の主な変動要因

当作成期首6,927円でスタートした基準価額は、7,570円（分配後）で当作成期末を迎え、当作成期首比10.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。一方、参考指数は、4.2%の上昇で、当ファンドは、参考指数を6.5%上回りました。

当作成期、当ファンドはプラスのリターンとなりました（円ベース）。

国別では、ロシアやブラジルに対する強気の見方がプラス要因となりました。

銘柄別では、中国の銘柄選択が主なプラス要因となりました。China Petroleum & Chemical（エネルギー）への強気の見方等がマイナスに影響した一方、堅調な売上の成長が好感されたLi Ning（一般消費財）や、市場予想を上回る好調な四半期決算が好感されたMidea Group（一般消費財）への強気の見方等がプラス要因となりました。

１万口当たりの費用明細

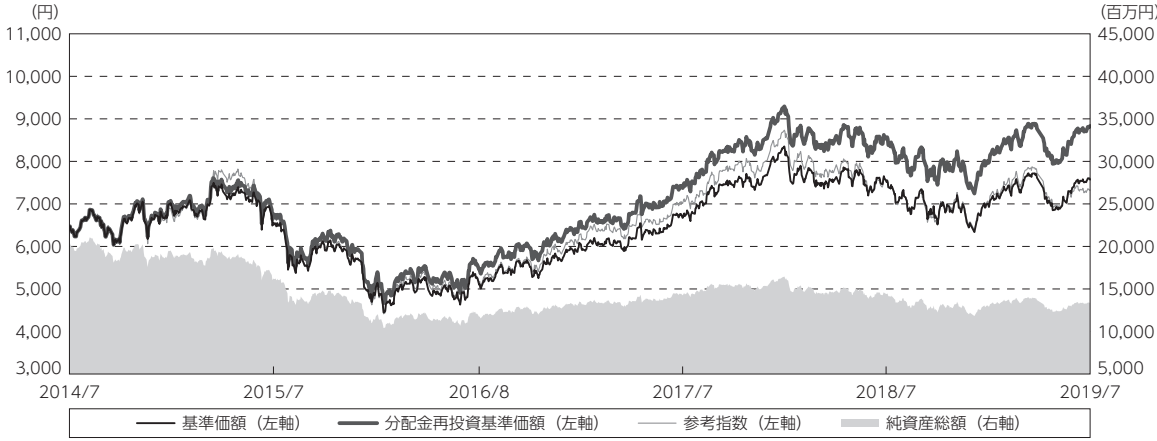
（2019年1月31日～2019年7月30日）

項目	第52期～第53期 金額	第52期～第53期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	73	1.007	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(35)	(0.482)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
（販売会社）	(35)	(0.482)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（受託会社）	(3)	(0.043)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	2	0.025	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(2)	(0.025)	
(c) 有価証券取引税	2	0.028	(c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(2)	(0.028)	
(d) その他費用	6	0.086	(d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.036)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(2)	(0.022)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他）	(2)	(0.023)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（ＬＥＩ：Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	83	1.146	
作成期間の平均基準価額は、7,263円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2014年7月30日～2019年7月30日）



（注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、2014年７月30日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年７月30日 決算日	2015年７月30日 決算日	2016年８月１日 決算日	2017年７月31日 決算日	2018年７月30日 決算日	2019年７月30日 決算日
基準価額　(円)	6,424	6,564	5,097	6,669	7,545	7,570
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	200	200	200	200	200
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	5.2	△ 19.4	35.2	16.1	3.2
参考指数騰落率　(%)	－	4.2	△ 23.0	36.1	8.0	△ 3.2
純資産総額　(百万円)	20,180	16,235	11,705	14,248	14,416	13,325

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドの参考指数は、MSCI BRIC指数（米ドルベース）*を委託会社が独自に円換算したものです。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

＊MSCI BRIC指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。
MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものでなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用することは禁じられております。

投資環境

（2019年1月31日～2019年7月30日）

当作成期のＢＲＩＣｓ株式市場は堅調に推移したものの、先進国株式市場を下回る展開となりました。

市場別では、ロシアは、原油価格が上昇したことや、天然ガス企業の株価が堅調に推移したこと等が好感され、株式市場は堅調に推移しました。2019年１－３月期の国内総生産（ＧＤＰ）は前年同期比＋0.5％と、2018年10-12月期の＋2.7％から減速しました。インフレ率の低迷を背景に、中央銀行は主要政策金利を引き下げ、2019年内にさらなる利下げの可能性も台頭しています。

インドは、選挙においてモディ首相のインド人民党（ＢＪＰ）が勝利したことが好感され、株式市場は堅調に推移しました。中央銀行は政策金利を0.25％引き下げ5.75％としました。一方、2019年１－３月期のＧＤＰが前年同期比＋5.8％と、2018年10-12月期の＋6.6％から下落しました。

ブラジルは、年金制度改革への期待感が高まったことを背景に、株式市場は堅調に推移しました。2019年７月には、下院議会において年金改革法案の基本文の採決が実施、可決されました。一方、2019年１－３月期のＧＤＰは前年同期比＋0.5％に留まりました。

中国は、2019年６月下旬に実施された20カ国・地域首脳会議（Ｇ20）における米中首脳会談を受け、米中貿易摩擦の緩和期待が高まったこと等が好感され、株式市場は堅調に推移しました。2019年５月に、米国は中国からの輸入品2000億ドル相当への関税率を10％から25％へ引き上げたことに加え、中国の大手通信機器メーカーに対する米国製品の輸出禁止規制を発令しましたが、首脳会談後、米国は中国からの輸入品に対する追加関税を見送ったことに加え、中国の通信機器メーカーへの禁輸措置の一部緩和を表明しました。国際的な株式投資における代表的な株価指数を算出するＭＳＣＩ社が、エマージング市場指数における中国Ａ株の組入比率を引き上げると発表したことも支援材料となりました。

（株式市場の騰落は、円ベースで記載しております。）

当ファンドのポートフォリオ

（2019年1月31日～2019年7月30日）

当ファンドが主要投資対象としているシュローダーＢＲＩＣｓ株式マザーファンドの運用について

ロシアは、米国からの制裁リスクを引き続き懸念するものの、株価水準は割安であると判断し、保有比率を拡大しました。

ブラジルは、株価水準が割安なことに加え、政策の見通しが良好であること、経済が回復傾向にあること等を評価し、強気の見方を維持しました。

中国は、株価は適正水準にあり、政府が景気刺激策を増やしている点は評価するものの、経済成長は減速傾向にあり、米国との貿易摩擦が解消されていない点を懸念し、弱気の見方を維持しました。

インドは、株価水準は割高であり、経済成長も減速傾向にあること、財政状況にも懸念があること等を懸念し、保有比率を引き下げました。

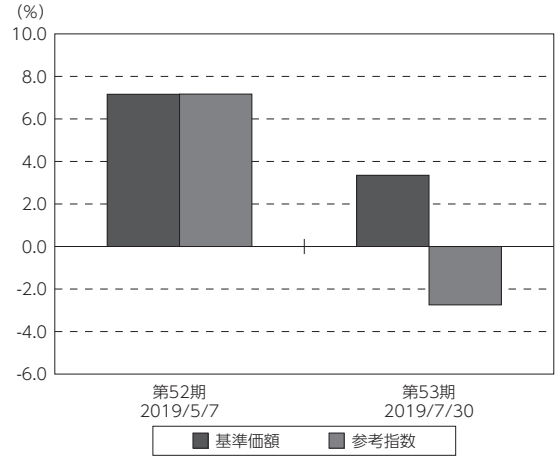
当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年1月31日～2019年7月30日）

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

基準価額と参考指数の対比は、右図の通りです。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
（注）当ファンドの参考指数は、MSCI BRIC指数（米ドルベース）を委託会社が独自に円換算したものです。

分配金

（2019年1月31日～2019年7月30日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、第52期から第53期は、１万口当たり課税前で50円とさせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第52期 2019年１月31日～ 2019年５月７日	第53期 2019年５月８日～ 2019年７月30日
当期分配金	50	50
（対基準価額比率）	0.674%	0.656%
当期の収益	21	50
当期の収益以外	28	－
翌期繰越分配対象額	1,562	1,602

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

世界貿易については、欧州連合（ＥＵ）からの輸入車に対する追加関税を課す可能性がある等、米国の対外通商問題をめぐる不透明感が払拭されるまでは時間がかかるものとみており、企業マインドへの重しとなる可能性があると警戒しています。また、足元では米中貿易摩擦の激化懸念が再燃していることも不透明感を高める要因となっていると考えます。米国は、中国からの輸入品3000億ドル相当に対し、2019年９月１日より10%の関税を課すと発表しており、これに対し中国は通貨中国人民元の下落を容認する姿勢を示しました。一方、企業の投資行動や雇用といった観点からは、米中貿易摩擦のさらなる激化リスクの一部はすでに企業マインドに織り込まれているものとみています。

ＢＲＩＣｓ株式は、株価収益率については長期平均の水準まで回復しつつありますが、引き続き先進国対比では割安な水準であると評価しています。世界の経済成長や貿易にかかる不透明感は払しょくされていませんが、ＢＲＩＣｓ諸国における金融緩和策等を背景に企業業績の見通しが改善する可能性があるとみています。

お知らせ

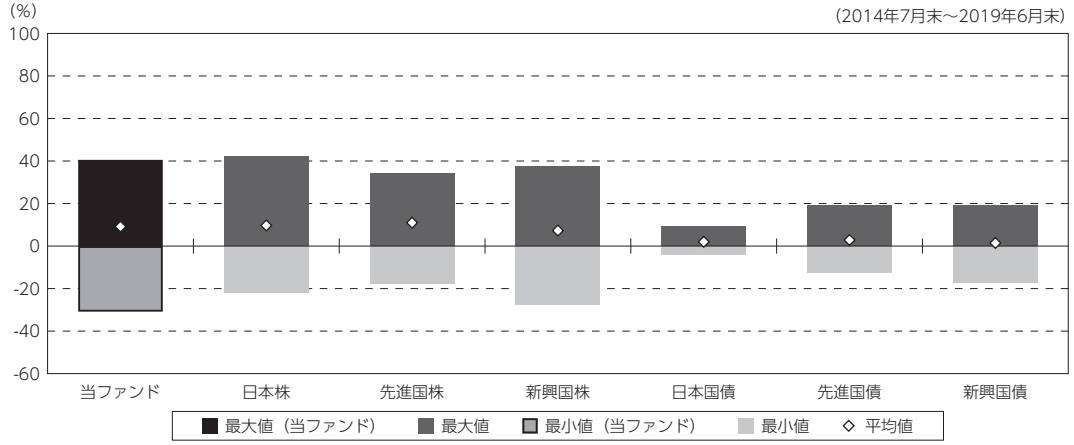
2019年４月27日付で信託約款に信用リスク集中回避のための投資制限を追加する変更を行いました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長を目的に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダーＢＲＩＣｓ株式マザーファンド受益証券とします。
	シュローダーＢＲＩＣｓ株式マザーファンド	ブラジル、ロシア、インドおよび中国の株式とします。
運用方法	マザーファンドへの投資を通じて、ブラジル、ロシア、インドおよび中国の株式を実質的な主要投資対象とします。 実質外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。株式等の実質組入比率については、原則としてフルインベストメントで積極的な運用を行います。	
分配方針	毎決算時（毎年１月、４月、７月および10月の各30日、ただし当該日が休業日の場合は翌営業日）に、利子・配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等から、基準価額の水準等を勘案し行います。 なお、分配を行わない場合があります。 「自動けいぞく投資コース」の場合、分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	40.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 30.8	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	9.2	9.7	11.0	7.3	2.0	2.8	1.4

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2014年７月から2019年６月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2019年7月30日現在）

○組入上位ファンド

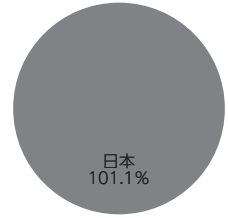
銘柄名	第53期末
	%
シュローダーＢＲＩＣｓ株式マザーファンド	101.1
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

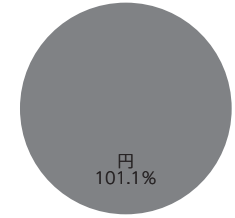
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

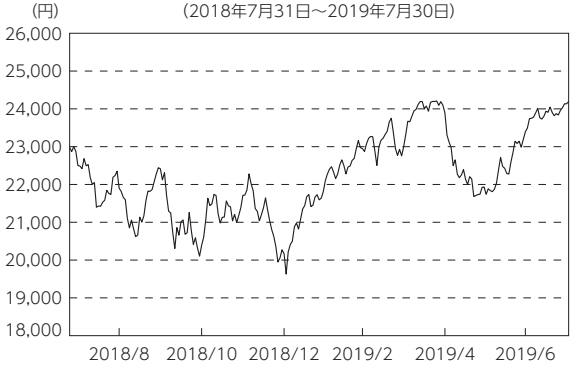
項　　目	第52期末	第53期末
	2019年５月７日	2019年７月30日
純資産総額	13,229,202,773円	13,325,329,608円
受益権総口数	17,943,808,975口	17,603,678,176口
１万口当たり基準価額	7,373円	7,570円

＊当作成期間（第52期～第53期）中における追加設定元本額は518,419,543円、同解約元本額は1,527,728,344円です。

組入上位ファンドの概要

シュローダーＢＲＩＣｓ株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2018年7月31日～2019年7月30日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	10	0.043
(株式)	(10)	(0.043)
(b) 有価証券取引税	9	0.042
(株式)	(9)	(0.042)
(c) その他費用	26	0.117
(保管費用)	(18)	(0.083)
(その他)	(7)	(0.033)
合計	45	0.202
期中の平均基準価額は、22,191円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

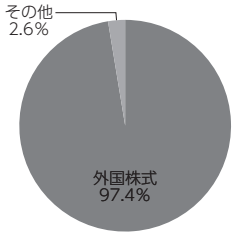
【組入上位10銘柄】

(2019年7月30日現在)

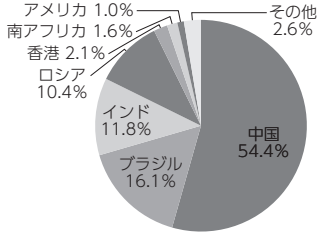
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	小売	米ドル	中国	9.4
2	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	8.6
3	INFOSYS LTD	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	4.1
4	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	香港ドル	中国	4.0
5	CHINA PACIFIC INSURANCE GR-H	保険	香港ドル	中国	3.8
6	HDFC BANK LTD	銀行	インドルピー	インド	3.6
7	ITAU UNIBANCO HLDNG-PREF ADR	銀行	米ドル	ブラジル	3.5
8	CHINA MENGNIU DAIRY CO	食品・飲料・タバコ	香港ドル	中国	3.3
9	LI NING CO LTD	耐久消費財・アパレル	香港ドル	中国	3.2
10	CNOOC LTD	エネルギー	香港ドル	中国	3.1
組入銘柄数		52銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

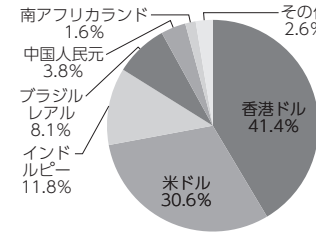
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

MSCIは、本資料に含まれるいかなるMSCIのデータについても、明示的・黙示的に保証せず、またいかなる責任も負いません。MSCIのデータを、他の指数やいかなる有価証券、金融商品の根拠として使用する、あるいは再配布することは禁じられています。本資料はMSCIにより作成、審査、承認されたものではありません。いかなるMSCIのデータも、投資助言や投資に関する意思決定を行うこと（又は行わないこと）の推奨の根拠として提供されるものではなく、また、そのようなものとして依拠されるべきものでもありません。